



組み立てるまえに



梱包内容がすべて揃っているか、御確認ください。

※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせください。

枕木を2本御用意ください。組み立てが容易になり、棚や床への傷つきを軽減します。

※組み立て時は、必ず軍手等の保護具を着用してください。

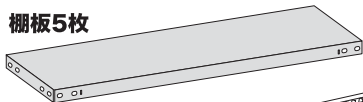


組み立てかた SKR 軽量ボルトレス棚 (天地5段仕様の場合)



梱包内容 ※オプションによって構成は変わります。

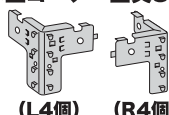
棚板5枚



アングル支柱4本



一体型コーナー金具8個



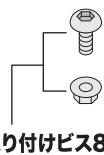
(L4個) (R4個)

中間金具12個



金具取り付けビス8セット

ピン8本



樹脂ベース4個



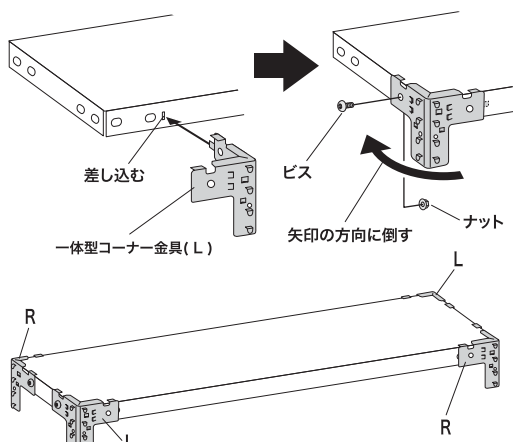
六角レンチ



●安全に棚を組み立てるために

組み立て時は、軍手等の保護具を着用し、必ず二人以上で組み立ててください。

- 1** 棚板2枚の4角に一体型コーナー金具を図の様に差し込み、付属のレンチを使ってビスとナットで固定してください。



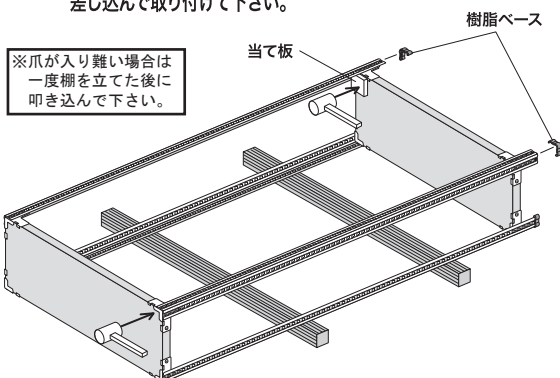
RとLを図の位置に取り付けてください。

注意

ビスは正しく取り付ける

逆向きに取り付けると、ビスの先端でけがをしたり、服をひっかけることがあります。

- 3** 棚板にアングル支柱を乗せて底面に樹脂ベースを取り付け、さらに一体型コーナー金具の爪を差し込んで取り付けて下さい。

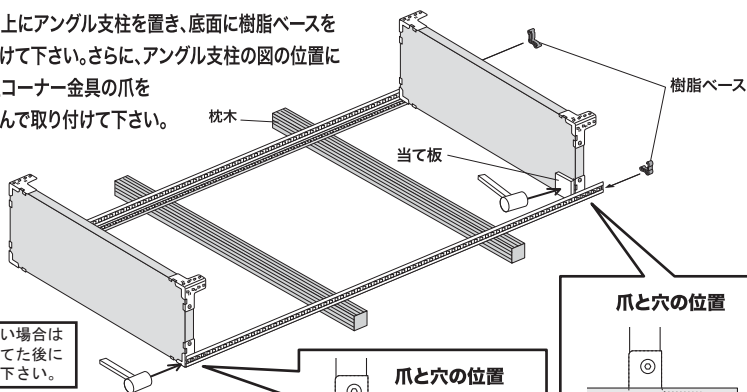


※上段の棚板は、コーナー金具上部の金具の部分をハンマーで叩き込んで取り付けて下さい。

下段の棚板は、棚板に当て板をしてハンマーで叩き付けをして下さい。

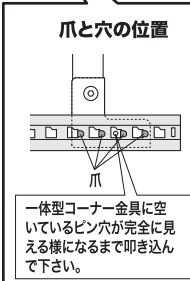
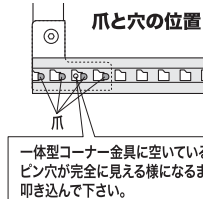
＜ご注意＞棚板を直接ハンマーで叩かないで下さい。破損する原因になります。

- 2** 枕木の上にアングル支柱を置き、底面に樹脂ベースを取り付けて下さい。さらに、アングル支柱の図の位置に一体型コーナー金具の爪を差し込んで取り付けて下さい。

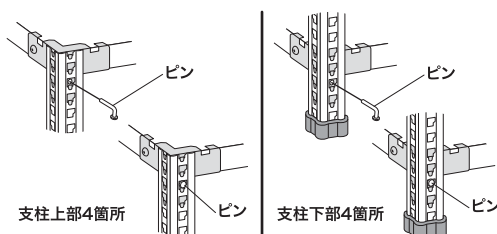


※爪が入り難い場合は一度棚を立てた後に叩き込んで下さい。

※上段の棚板は、コーナー金具上部の金具の部分をハンマーで叩き込んで取り付けて下さい。
下段の棚板は、棚板に当て板をしてハンマーで叩き込んで取り付けて下さい。
＜ご注意＞棚板を直接ハンマーで叩かないで下さい。破損する原因になります。

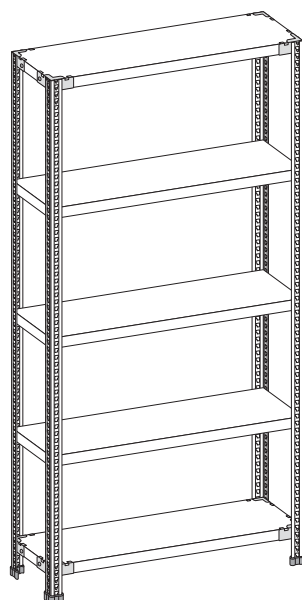


- 4** 水平な場所でラックを起し、ピンを支柱の図の箇所へ差し込んで下さい。

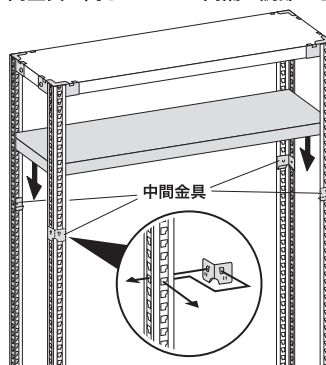


6

完成！



- 5** 中間金具を4本のアングル支柱の同じ高さの穴に4個セットしてから、棚板をのせていきます。
(中間金具の高さは2.5cm間隔で調節できます。)



SKR 軽量ボルトレス棚【100kg/段】

組み立て・取り扱い説明書

この度は『SKR 軽量ボルトレス棚』をご購入頂きまして誠にありがとうございます。本製品は特殊L型アングル支柱に強度抜群の『一体型コーナー金具』を取付ける事によって、従来型のものでは使用していたボルトを無くしたボルトレススチール棚です。中板もボルトレスですので簡単に移動ができ、また2.5cmと細かく調整が可能になっています。オフィス・工場だけでなくご家庭まで広く末永くご利用頂けます。

棚板1段当たりの耐荷重は、均等で980N(100kg)、1連当たりの最大耐荷重は5.88kN(600kg)です。

※均等の耐荷重とは、棚板の表面に均一に荷重をかけた場合に、耐えられる重さの合計量をいいます。

安全上のご注意

必ずお守りください



警告

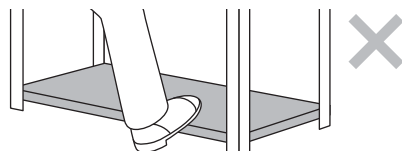
誤った使い方をすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

●荷重以上の荷物を置かない

棚が傾いたり、棚板が曲がったりして危険です。

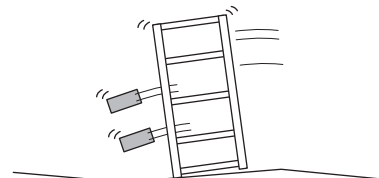
●足をかけたり、よじのぼったりしない

転倒したり、棚板が外れたり、足を滑らせて、けがをするおそれがあります。



●不安定な場所に設置しない

棚が倒れたり、荷物が落下して、けがをするおそれがあります。



注意

誤った使い方をすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

●最上段棚板に荷物を置かない

棚が倒れたり、荷物が落下して、けがをするおそれがあります。

●棚が変型したままで使用しない

棚が倒れたり、荷物が落下して、けがをするおそれがあります。

●屋外や水のかかる場所に設置しない また、ぬれたものを置かない

棚が腐食し、倒壊するおそれがあります。

●組み立ては裏面の手順に従う

手順を誤ると、組立中に部品が外れたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

●支柱の切断など、改造をしない

棚が不安定になり危険です。また、切断面のバリなどでけがをすることがあります。

●ビスは正しく取りつける

逆向きに取り付けると、ビスの先端でけがをしたり、服をひっかけることがあります。また、取り付けを誤ったり忘れたりすると、使用中に棚が分解するおそれがあり危険です。

●解体移設するときは、説明書に従う

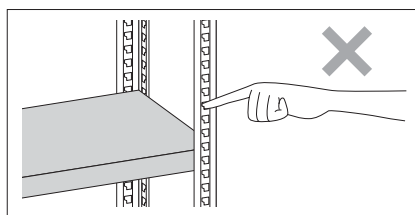
部品の取り付けを誤り、分解・転倒のおそれがあります。

●危険物(薬品・壊れ物等)を置かない

破損してけがをしたり、健康を害するおそれがあります。

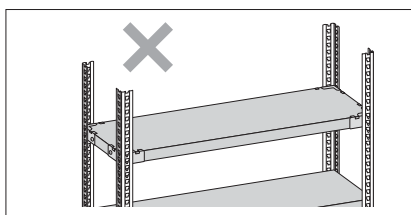
●棚板のつぎ目など、隙間に指を入れない

切断面や取り付け穴のカドで、けがをするおそれがあります。



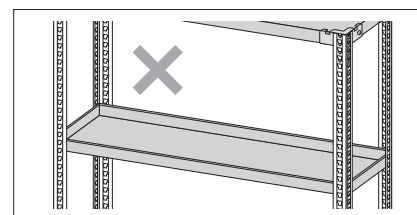
●天板を支柱上部より下げない

柱上部の突起で、指などをけがするおそれがあります。



●棚板を裏向きにして使用しない

指などを折り返し部にひっかけ、けがをすることがあります。



●別途オプションにて転倒防止装置を御用意しております。担当営業マンにお問い合わせください。

●本製品を第三者に譲渡、貸し出しする場合、必ずこの説明書を添えてお渡してください。

※この説明書は、紛失しないよう大切に保管してください。